

JIS

自動車—ディーゼル機関用
燃料噴射ノズルホルダの形状
及び寸法—サイズ“S”ノズル用

JIS D 3631 : 1998

(2008 確認)

平成 10 年 7 月 20 日 改正

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

著作権法により無断での複製、転載等は禁止されております。

まえがき

この規格は、工業標準化法に基づいて、日本工業標準調査会の審議を経て、通商産業大臣が改正した日本工業規格である。これによってJIS D 3631 : 1985は改正され、この規格に置き換えられる。

今回の改正では、対応する国際規格群との整合度を高めた。対応国際規格群は、ISO 2699 : 1974, ISO/DIS 7026 : 1996及びISO 7030 : 1987である。

この規格の一部が、技術的性質をもつ特許権、出願公開後の特許出願、実用新案権、又は出願公開後の実用新案登録出願に抵触する可能性があることに注意を喚起する。通商産業大臣および日本工業標準調査会は、このような技術的性質をもつ特許権、出願公開後の特許出願、実用新案権、又は出願公開後の実用新案登録出願にかかわる確認について、責任はもたない。

JIS D 3631には、次に示す附属書がある。

附属書(参考) ノズルホルダへのノズルの組立

主 務 大 臣 : 通商産業大臣 制定 : 昭和 57. 10. 15 改正 : 平成 10. 7. 20

官 報 公 示 : 平成 10. 7. 21

原案作成協力者 : 社団法人 自動車技術会

審 議 部 会 : 日本工業標準調査会 自動車・航空部会 (部会長 佐藤 武)

この規格についての意見又は質問は、工業技術院標準部材料機械規格課 (〒100-8921 東京都千代田区霞が関1丁目3-1) にご連絡ください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第15条の規定によって、少なくとも5年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

自動車—ディーゼル機関用
燃料噴射ノズルホルダの
形状及び寸法—サイズ“S”ノズル用

D 3631 : 1998

Road vehicles—Shapes and dimensions of fuel injection nozzle holders
for diesel engines—Size “S”

序文 この規格は、ISO 2699 : 1974 Diesel engines—Flange-mounted fuel injectors, size “S”—Types 2, 3, 4, 5 and 6, ISO/DIS 7026 : 1996 Diesel engines—Screw-in injection nozzle holders, types 20, 21, 21.1 and 27 for pintle nozzle size “S”, type “B”及びISO 7030 : 1987 Road vehicles—Screw-mounted injection nozzle holders, types 12, 13, 14, 15, 16, 17, 18 and 19の対応部分(サイズ“S”ノズル用ホルダ)を翻訳し、技術的内容を変更することなく作成した日本工業規格である。

なお、ISO 7030のサイズ“P”用ノズルホルダは、JIS D 3632が対応している。

1. 適用範囲 この規格は、JIS D 3604 : 1998(自動車—ディーゼル機関用燃料噴射ノズルの形状及び寸法—サイズ“S”)に規定する燃料噴射ノズルとともに使用する、サイズ“S”ノズル用ノズルホルダの取付け及び互換性に必要な形状及び寸法について規定する。燃料噴射管の継手部及びリーケージ部の位置は、機関によって異なるので、この規格では規定しない。

備考 この規格の対応国際規格を、次に示す。

ISO 2699 : 1974 Diesel engines—Flange-mounted fuel injectors, size “S”—Types 2, 3, 4, 5 and 6

ISO/DIS 7026 : 1996 Diesel engines—Screw-in injection nozzle holders, types 20, 21, 21.1 and 27 for pintle nozzle size “S”, type “B”

ISO 7030 : 1987 Road vehicles—Screw-mounted injection nozzle holders, types 12, 13, 14, 15, 16, 17, 18 and 19

2. 種類 ノズルホルダの種類は、シリンダヘッドへの取付け方式、適用ノズル形式及びノズルナットの最大直径によって表1のとおり区分する。